

令和2年度 社会教育委員 第6回会議

令和3年2月26日（金）19:03～19:51

プラザおおるり3階 第3多目的室

【出席者】

出席委員：8人 田代廣保委員（議長）、北川美幸委員（副議長）、
八木博委員、熊谷紀男委員、青山朝美委員、鈴木美香委員、
萩原淑恵委員、中村吉哉委員
（欠席2人 大石絵美委員、松本敬人委員）

島田市教育委員会出席者：4人

小林社会教育課長、伊藤課長補佐兼青少年係長、
佐野社会教育係長、鈴木会計年度任用職員（青少年係）

【会議の内容】

1 開会 19:03

2 議長あいさつ

（田代議長）

- ・現メンバーで最後の会議である。提言書をいよいよまとめていくので、御協力をいただきたい。
- ・初倉中学校の運営協議会に出席した。日本では子どもの自己肯定感が低いといわれるが、初倉中学校が行った生徒と親へのアンケートによると自己肯定感が高いという回答が多く安心した。地域の皆さんから「あいさつがよい」と言われ、地域での子育ての良さを感じる。
- ・提言書については、会議前に非公式な形で率直な意見を出していただいた。今後は、議長・事務局へ一任させていただき、作業を進めることとするので、御理解いただきたい。

4 報告

①令和3年成人式

資料1に基づき、伊藤課長補佐兼青少年係長が報告を行った。県からの要請や感染状況の拡大などから急遽規模を縮小し、式典の様子をライブ配信での開催へ変更をした。（以下、資料により説明）

（質疑応答）

Q：会場はどこでやったのか？

A：プラザおおるりの大会議室。

② 社会教育講座 (2/7 ささま)

オンライン併用講座として実施。出演者1人がZOOMで遠隔出演となった。技術的難度が高くなり、大変だった。

パブリックビューイングを含め50人ぐらいの参加だが、市外が優勢だった。

(感想)

- ・パネルの時の音声が聞き辛かった。
- ・中身がよかったので、音声の件が気にならなかった。
- ・ZOOM出演者と現地出演者の音声の差があった。今後の課題。

③ 社会教育関係者研修会 (2/9 三島市、中止)

県社教連主催だったが、変異株出現などの影響もあり、代替案も無く中止となった。

5 議題 検討テーマ「家庭教育の在り方」

(事務局説明)

皆さんからいただいた原稿は、事務局と任意の委員で推敲をしている。当初の提出時期に差があり、かなり以前に提出された原稿と、最近になって提出された原稿があることから、編集の条件にタイムラグから読みにくい部分もある。

(田代議長)

教育委員会に報告後、我々のバイブルとし、普及活動をすることが来年度の活動になる。パワーポイントを使った資料を試作してみたが、もっとよいものがあればお任せしたい。

(熊谷委員)

人に読んでいただくという点で、テクニカルな問題もあるが、皆さんが気にならないのであればよいのではないか。

最初の3行が大事。この3行で全体の出来がわかる。

(事務局・提言シート説明)

縦軸 上から年齢(時系列)

横軸 家庭教育とそれ以外(学校・社会教育)

内容 ☆と小見出し…提言の一覧となり、全体で概要となる。

シートは、前回、大石委員が提案したものをアレンジした。当初は目次として使う予定だったもの。

(北川委員)

小見出しなどにより、読みやすくなった。概要もわかりやすい。これを見直していけば、よいのではないか。

(鈴木委員)

処方箋とコラムは、どう分けるか。処方箋は、「悩んだ時」の内容では。編集後記にも処方箋的な内容があるので、移動した方がよい。

(青山委員)

子育て世帯に行き渡るとよい。

個人的には、「自己責任能力」という言葉が、よく言う「自己責任論」にも繋がりそうなことが引っかかった。

違う意味であることは理解できるが、世間では、よくない意味で使われるイメージ、「悪いのは自分」という意味。誤解を招く。言い換えて他の表現に。

(鈴木委員)

いろいろな解釈がある言葉は使わない方がよいのでは。間違った解釈する人がいるかもしれない。

(萩原委員)

「自立の力」とか…。

中学生ぐらいだと、自分自身を見つめる時期。自分のことができるようになり、みんなのために何ができるかの気づきが少しずつ出てくる時期。具体的な姿にした方が。

(鈴木委員)

「自分自身の判断能力」のみたいな言い方がふさわしいのでは。または「よいことを選択する力」などは。

(事務局)

執筆委員（欠席）にフィードバックして、言い換えを確認する。

(青山委員)

「はじめに」のところで、「家庭教育の在り方にはワクチンがあるわけではありません」を、「家庭教育の在り方には、ワクチンのような特効薬があるわけではありませんが」の方が、「子育ては毎日の積み重ねが大事である」の意味が入ってくるのではないか。

(事務局説明)

- ・今後の作業予定について、スケジュール案により説明。
- ・目次は、最終で作成する。
- ・提言シートは4ページへ移動し、見える化を進める。
- ・第1章のタイトルを変更。
- ・中・高校生の箇所が仮置きのみまだなので、検討を進める。（提言シートに馴染むものにする。）
- ・コラムと処方箋は、いただいた意見で並べ直す。
- ・「終わりに」は、残った文章から構成。

- ・4月に教育委員会へ提出。今後、メールや電話での連絡となる。
- ・最後に「編集後記」を追加。

(八木委員)

タイトルは「家庭教育の在り方」なのか？諮問に応える形なので。「べき」論を避けるということだったので、どうかな？と思う。

(田代委員)

副題と付ける、のはどうか。

(以上で、討議終了)

(田代議長)

事務局の説明に基づき進めるということによろしいでしょうか。

(異議なしにより、議題検討終了)

6 その他

- ・委員改選について（退任委員挨拶）

(小林課長)

退任される北川美幸委員紹介。

(北川委員)

楽習センター講師という立場から就任した。スポーツ講師だったので、委員の仕事が新鮮だった。スポーツ推進委員との両立が難しくなってきたので、退任することとした。

これからは、一市民としてお手伝いしたい。

7 閉会 19:51